

宮居さんへ

宮居さん、毎朝、通学とちめて、宮居さんには  
出会ってから、少し、はずかしいのだけど、今日は、

手紙を書きました。読んでください。

今朝、わたしは、ひさぶりにけんかをしたの。

自分の言いたいこともよく言えなかつたし、お母さ  
んの言いたいことも頭に入らなくていらいら  
した気分で家を出たの。通学はんでならんで歩いて  
いるときも、いらいらがおさまらなくてフンフンおこり  
ながら歩いていたと思うの。

宮居さんは、フンフンしたわたしのすかたに気付いた  
のかな。いつものように、学校の角のところに立って、  
「おはよう」と、あいさつをしてくださったの。いつもの  
ように、え顔で、わたしの目を見るようにして。

宮居さんの「おはよう」にわたしは、まほうをかけられたよ  
うに、自分の中のフンフンしたものが、すっと消えてい  
たの。その日は、いつもより気合いが入って、授業  
もかんばることかできました。もちろん家に帰っ  
てもすーっと明るい気持ちでした。お母さんと  
けんかしたことをわすれてしまっ...

20×20

こんなふうに、私は、宮居さんから、数え切れない  
くらいのパワーを毎日いただいていたんだなと  
思います。きっとこれからも、私が小学校を卒業  
するまでずっと、宮居さんのあいさつからスーパ  
ーパワーをいただくんだなあと思ひます。いたたいて  
ばかりでは、もうしわけないから、わたしのあいさ  
つで、宮居さんにパワーをあげたいです。

だから宮居さん、いつまでもお元気で、  
わたしの学校の見守りボランティアを続  
けてくださいね。

ファンクショナルタイム エリザベト より

20×20